

当センターと(株)リアライズが開発した3Dドライ転写技術によるハンドルの生産が、2016年1月から(株)ミロクテクノウッドで開始されました。

3Dドライ転写技術の開発は、平成17年からスタートし、当初は当センターと(株)リアライズ、(株)山崎技研、ヤマト商工(有)、(株)山本鉄工所とが共同で開発を行ってきました。その後、平成20年に(株)東海理化電機製作所で商品化され、トヨタアルファードのハンドルに採用されてきました。このたび県内企業での生産が開始され、3Dドライ転写技術が里帰りを果たしたかたちとなります。



学生等への広報活動 センター全体

高校生、大学生等に県内産業界に興味を持ってもらい、就職につなげる活動を行いました。

- ・インターンシップ
高知大1名、県立大3名、工科大2名参加
- ・小津高等学校 SSH (文部科学省事業)
工業技術体験ゼミ 18名参加
- ・高知CST養成プログラム 11名参加
- ・外部研究員・研修生 5名参加



ものづくり補助金の採択支援 センター全体

「平成26年度補正 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業」の採択に向けて、補助金の相談・説明から申請書作成支援等を行い、13企業が採択されました。

採択され、交付された補助金は企業の生産現場で有効に活用されています。



ものづくり補助金活用商品例 (有)タカシン水産